

余田義彦

YODEN Yoshihiko

教授

【現在の専門分野】

情報教育、教育工学、科学教育

【現在の研究テーマ】

学校教育用グループウェアのシステム開発と活用法の研究

【学 位】教育学修士（筑波大学）

【所属学会】日本科学教育学会、日本教育工学会、教育システム情報学会

■ 主要研究実績

(著書) 生きる力をはぐくむ算数授業の創造 (分担執筆) ニチブン	1999年
生きる力を育てるデジタルポートフォリオ学習と評価 (編著)	
高陵社書店	2001年
教育工学を始めよう (共著) 北大路書房	2002年
ネットワークで育む「確かな学力」(編著) 二十一世紀教育研究所	2003年
確かな学力を育てるITの先進的な教育利用 (分担執筆)	
東洋館出版社	2004年
(論文) ハンズオンによるモノづくりとデジタルポートフォリオ作成を取り入れた情報教育 情報教育方法研究	2000年
グループウェアを用いた算数教育 日本数学教育学会学会誌算数教育	2001年
学校教育用グループウェアを用いた遠隔共同学習の実践 学習情報研究誌	2003年

■ 研究・社会活動等

日本科学教育学会 研究奨励賞	1988年
日本教育工学会 研究奨励賞	1993年
私立大学情報教育協会 奨励賞	2000年
日本科学教育学会 科学教育実践賞	2003年
日本科学教育学会 理事・副会長	2002年～2006年、2012年～2016年

■ 学内外研究費による主要研究活動歴

科学研究費補助金 (基盤研究(B)) 児童のための無線ネットワーク対応携帯型情報端末用マルチメディアデータベースの開発	1997年～1999年
科学研究費補助金 (萌芽的研究) 「理科実験ポートフォリオ」の作成と相互評価を取り入れた誤概念克服のための教授戦略	1998年～1999年
科学研究費補助金 (基盤研究(B)) (2) 総合的な学習のための小中学校用ネットワーク対応電子ポートフォリオ評価支援システム	2000年～2002年
科学研究費補助金 (特定領域研究) (1) 動機づけの仕掛けを組み込んだ観察、工夫、考える力を育てるモバイル学習システム	2003年～2004年
科学研究費補助金 (特定領域研究) (2) 動機づけの仕掛けを組み込んだ観察、工夫、考える力を育てるモバイル学習システム	2005年～2006年
科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究) eラーニング連携型SNSの開発とそれを用いた家庭学習支援地域コミュニティの形成	2008年～2010年

■ 主要な担当授業科目

[大学院] 表現文化特殊演習、表現文化発展演習、メディア研究法特論など
[大 学] 情報ネットワーク、情報ネットワーク応用Ⅰ・Ⅱ、情報サービス演習Bなど

教育現場で役立つ高い実用性を備えた学習ソフトの開発に取り組む

学校のパソコン導入率やインターネット接続率は100%になりました。しかし、その環境を情報教育や学力向上のために十分に活かしている学校はまだ少ないのが実状です。

その問題を解決する一助として、学習ソフト「スタディノート」の開発に取り組んでいます。「教える者は



「スタディノート」の起動画面と、動作中の画面。全国各地の小中学校、数千校に導入され、広く活用されています。

二度学ぶ」という言葉があるように、仲間と意見を交換しあったり互いに教えあい学びあうことは理解を深める上で効果的な学習法であるとされています。このソフトは、様々な教科や総合的な学習でそのような相互啓発型の学習をマルチメディアやネットワークを利用して効果的に実現しようとするものです。

実用性の高いソフトを開発するため、開発の初期から、研究協力校へシステムを持ち込み、生徒や先生方に授業で使ってもらい、そこで得た経験を次の開発に活かすというアプローチで研究を進めています。その結果、低学年の児童でも簡単に使いこなせるソフトの開発に成功しました。このソフトを使った授業でつくば市教育委員会が内閣総理大臣賞を受賞するなど、教育効果の面でも各地で成果

をあげています。

ソフト開発だけでなく、各地の教育委員会や学校の要請を受けて情報教育についての研修会、講演会を行ったり、インターネットを利用した情報提供も行っています。また、ソフトの実用化に関連して企業とも共同研究を行っており、特許も取得しています。(特許第3589622号、特許第3676229号)



学校や教育委員会で行われるIT研修の講師をお引き受け致します。また、授業実践に対するアドバイスも致します。